議題１：未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策について（碧南市提出）

資料１

市名	回答 どのような取り組みを考えているかについて
名古屋市	・本市及び県警による「名古屋市交通安全対策緊急プロジェクトチーム」を設置し、交通安全に係るハード・ソフト両面からの各種対策について、協議を行っているところです。 ・ハード対策については、現在、危険個所の抽出のため保育所・幼稚園等の対象施設へ照会を行っており、今後、その回答の集約と、道路管理者及び県警による点検、必要な安全対策の実施に向け、関係局及び県警と各種調整を図っております。 ・ソフト対策については、当面は「保育園、幼稚園等の園外活動における交通安全対策」を優先して検討しており、具体的には、「幼稚園・保育所等における交通指導員による交通安全教室実施の強化」、「ソーシャルマップサービスを活用した幼稚園・保育所等及び保護者への危険な場所の周知」、「チャイルドビジョン（子どもの視野が体験できる紙製・組み立て式ツール）を活用した啓発」等の実施を検討しています。
豊橋市	【未就学児等について】 ・保育園等の対象施設から報告を受けた集団移動経路の危険個所に関する要望を取りまとめ、道路管理者、所管機関、対象施設、地元警察署が合同点検を実施し、対策が必要な箇所を抽出したうえで、早期対策が必要な箇所から安全対策を実施する。 【高齢運転者について】 ・免許自主返納者への移動支援（タクシー券など） ・免許を返納したくても返納できない場合の支援（アクセル・ブレーキ踏み間違い防止装置の補助など） ・公共交通の利用促進に向けた取組の推進
岡崎市	これまでも地域住民、各小学校から危険箇所の改善要望を受け、道路管理者や警察署等と協議し、安全に必要な対策を実施してきた。今回、保育園等からの要望を追加して、保育部局、道路管理者、警察署等を含めた合同点検を実施予定。その点検結果に基づき地域住民、関係機関と連携し、早急に危険箇所を改善できるよう検討する。 また交通安全指導については、地域住民、岡崎警察署、各団体、本市が連携し、各年代を対象とした交通安全教室の開催、交通安全啓発活動を実施している状況であるが、新１年生を交通事故から守るために必要な対策を検討している。
一宮市	ETC2.0などの交通ビックデータを活用した「生活道路交通安全対策事業」を今年度に実施予定
瀬戸市	市内保育園及び幼稚園（計４２か所）を維持管理課、保育課、当該施設、警察の４者にて７月９日から８月末までに点検、１０月末までに県へ対策案を報告する。
半田市	警察、学校、道路管理者と連携した危険個所点検とハード整備。 高齢ドライバーに向けては運転免許自主返納促進のための制度創設。

市名	回答 どのような取り組みを考えているかについて
春日井市	【未就学児の対策】 現在、園児が集団で利用する経路及び経路上の危険箇所を調査中。 今後、危険が認められる箇所について、市、保育園、道路管理者、警察等の関係団体で、対策を検討していく予定。 【高齢運転者の対策】 各季の交通安全運動期間など、機会を捉えキャンペーンなどによる啓発活動を交通安全推進団体等の関係団体と協力して実施しているほか、老人クラブ等で交通ルールや運転時における注意点などについて講話する交通安全教室を開催している。 また、アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故を防止する装置の購入補助事業の創設について、国や県の動向を注視しつつ検討していく。
豊川市	「未就学児を中心とした子どもが日常的に集団で移動する経路の安全確保」としては、豊川市通学路安全推進会議が推進する「豊川市通学路交通安全プログラム」の中で、通学路の安全確保に関する取組みとして、その中で安全点検を実施しています。また、市内保育園及び幼稚園に対しては、散歩等の外出時の安全な経路のアドバイスや指導を警察署と相談しながら個別に行っています。 「高齢者の安全運転を支える対策」としては、老人クラブの講話や各町内から依頼される交通講話の中で、運転に不安がある高齢者に対し、自主的な運転免許の自主返納や踏み間違え防止装置などの積極的な啓発や注意を行うことで対応しています。 「高齢者の移動を伴う日常生活を支える取組」としては、介護高齢課とともに、バスなどの公共交通機関を利用した生活をシミュレーションする講座を今年度から開始しました。
津島市	市、警察、津島市交通安全協会等と連携した小学校、保育園の交通安全教室の実施及び小学生の登下校時の見守り、立哨活動を実施をするとともに、各小学校区ごとに津島みまもり隊等の自主防犯ボランティア団体による登下校の見守り活動を行っています。また、通学路等の点検を実施し、道路交通安全環境の整備を図っています。 高齢者の交通事故防止を図るため、交通安全教育チームによる講話やシュミレーターを使用した自己運転のくせ等を理解する参加体験型の交通安全大学を開催しています。 また、津島市運転免許証自主返納促進事業の広報・ＨＰでの周知及び高齢者が集まる機会を捉えて、市、警察、津島市交通安全協会等と連携した啓発活動を実施しています。
碧南市	碧南市では、他課と連携した取組はまだできていませんが、後付けの安全運転支援装置設置費補助の導入を予定しています。 道路担当に来ている「未就学児が日常的に集団で移動する経路等の交通安全の確保について」等の通知や調査依頼等については関係課で情報共有しています。
刈谷市	子どもの安心安全な歩行空間の整備として、関係部局と連携し、移動経路の安全点検を実施中。 また、高齢運転者の支援として、後付けの安全運転支援装置に関する補助制度を検討中。 今後の展開は未定。
豊田市	後付けの安全運転支援装置の補助について検討中
安城市	未就学児について、主管課と道路管理者（保育課・維持管理課）により「未就学児が日常的に集団で移動する経路等の交通安全の確保について」に基づき8月末までに実施予定。 高齢者については、老人クラブ等での交通講話にて盛り込んでいく。

市名	回答 どのような取り組みを考えているかについて
西　尾　市	未就学児等への対策としては、青パトによる巡視場所を学校周辺や子どもの移動経路をより重点的に行うように依頼した。他は、子どもの移動経路の緊急安全点検を実施している最中であり、対策の具体化までは至っていない。 高齢者への対策としては、運転免許証自主返納事業の見直し、踏み間違え防止装置の補助制度の創設を検討している。
蒲　郡　市	本市では、未就学児の交通安全対策として保育園を管轄する子育て支援課が中心となり、各保育所等から散歩コースなどの危険箇所を報告してもらい、それをとりまとめ、危険箇所の管轄部署へそれぞれ安全対策の実施を依頼しています。 高齢運転者の交通安全対策としては、運転免許自主返納者に対して、バスの回数券や記念品の配布を行い、免許返納を進めていくとともに、免許返納後の移動手段を確保するため、コミュニティバスの運行の拡大を進めています。 蒲郡市では、現在コミュニティバスは1地区のみの運行ですが、10月と来年1月から1地区ずつ新たに運行する予定で今年度末には合計3地区での運行となる予定です。
犬　山　市	関係課と連携し、未就学児等の日常的な移動経路上における危険個所を現在、調査中。 調査後、現場確認を行い、必要な対策（ハード・ソフト・移動経路の変更等）を実施予定。
常　滑　市	・幼保育園は、８月末に関連課において通学路等の安全点検を実施予定。その結果を踏まえて修繕等を進める。 ・小中学校は、以前から毎年度３回、学校、地域のほか、警察署、県事務所及び大学教授が参画する「常滑市通学路安全推進会議」において安全点検を実施し、必要箇所の修繕等を進めている。今年度も引き続き実施していく。 ・高齢運転者は、現時点では具体的な取り組みはない。
江　南　市	保育園を主管する保育課により、子どもたちの園外活動における交通安全対策マニュアルの再点検、移動コースの点検は実施済みです。 今後、対策会議等が開催された際には、交通安全担当、道路管理者の参加を予定しています。
小　牧　市	保育所等の散歩コースなどを確認し、施設、道路管理者、警察と連携し、8月中を目途に合同点検を行う予定です。
稲　沢　市	関係課と連携し、調整、現場確認をして危険な箇所を整備していく。 今年度４月より、６５歳以上の方に対して運転免許証自主返納支援事業を開始した。
新　城　市	新たな取組は考えていないが、庁内で連携して通学路安全確保に向けた点検活動や高齢者運転免許自主返納事業の実施、市内老人クラブ,こども園等を対象とした交通安全教室の実施など、既存の取組を継続して実施する。
東　海　市	令和元年度より、市内１２小学校区通学路上に犯罪抑止を目的に、防犯カメラを設置するが、同時に主要交差点や通学路の交通安全対策（万が一の事故発生時の記録や常習的な交通違反者の記録）にも活用できるよう設置位置を精査している。
大　府　市	本市では、交通安全について、啓発に関することは危機管理課が担当し、施設に関することは建設管理課が担当している。 内閣府政策統括官からの「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策について」を受けて、未就学児の保育等の担当部署や道路管理の担当部署には、国・県から、未就学児が日常的に集団で移動する経路について、合同点検、交通安全対策が必要な箇所の抽出及び対策案の作成等が依頼されており、庁内の関係部署が集まって情報共有を図り、対策案等について検討を進めている。

市名	回答 どのような取り組みを考えているかについて
知　多　市	・幼児保育課及び土木課が幼稚園・保育園等の未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検を実施する。 ・高齢運転者の事故対策として、１０月1日から６５歳以上の運転免許自主返納者及び７５歳以上の市民に対してコミュニティバスの無料パスを発行する。
知　立　市	①未就学児等の交通安全緊急対策について 　市の道路管理担当課から、市内の保育園、小規模保育事業所、認可外保育園に子どもが日常的に集団で移動する経路等の安全点検の実施を依頼。今後は報告のあった危険箇所について道路管理担当課、学校教育担当課、防犯交通担当課、地元警察署と協力し、現地調査を行い、対応策について協議していく。 ②高齢運転者の交通安全緊急対策 　高齢ドライバー教室の開催、運転免許証自主返納による支援の充実、 既存車への後付の安全支援装置の普及等調査・検討している。
尾 張 旭 市	「未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策」を受けての、特別な取組みは実施しておりません。 【通年事業】 ・通学路点検（主管課：教育委員会） ・高齢者交通安全教育の強化
高　浜　市	未就学児への対策については、全ての保育園と幼稚園に対し、日頃からよく利用する散歩ルートなどの危険個所について調査を依頼し、現在、その取りまとめを行っている。担当グループや道路管理者などと調整を図りながら、今後、現地確認等も行う中で、必要な対策を進めていく予定である。 　また、高齢運転者への対策については、交通安全協会や交通指導員など、関係機関と連携した啓発活動等を実施する予定である。
岩　倉　市	園児や高齢者を対象に実施している交通安全教室での取り組みについて、警察と連携して協議していきたいと考えています。
豊　明　市	未就学児等については、愛知県からの通知をもとに、市内保育園のお散歩コースの安全点検を実施した。今後、建設部、担当課、警察と調整を行い、必要な個所は順次整備していく。 高齢運転者については、引き続き、返納時の市営コミュニティバスの優遇等を周知していく。
日　進　市	未就学児 こども福祉部に情報共有を図り、保育園等の散歩コース等の見直し等を検討している。また、こども福祉部・道路管理者・保育園等による安全性の確認を行い、幼児の安全確保が図られているか点検を実施。 高齢者 福祉会館などの地域の拠点や老人クラブ単位で高齢者交通安全教室を実施し、交通安全意識を高めることにより、事故の発生抑制を促す。

市名	回答 どのような取り組みを考えているかについて
田　原　市	【未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策についてを受けて考えている取組】 通知の前から保育園等に危険箇所の聞取りを行っており、それを精査の上、合同点検箇所を決定し、今後合同点検を実施する。 【これまでの取組】 ●未就学児童 ・交通安全啓発資材（ベスト・帽子）を各自治会に配布 ・交通公園を利用した交通安全教室の実施（各園年３回） ●高齢運転者 ・高齢者運転免許証自主返納支援事業を実施（H29年度～） ・交通安全キャンペーン等で反射材を配布 ・市政ほーもん講座として交通安全についての出前講座を実施 以上を継続実施していく。
愛　西　市	該当なし
清　須　市	現在、市内にある保育園(13)等にて警察の方のご協力のもと1園につき年に2,3回交通安全教室を実施しており今後も継続して行っていく予定です。
北名古屋市	建設部主導により、安全確保のための緊急合同点検を実施し、必要な対策を検討する。 ソフト面で実施すべきは、従来以上の広報及び啓発が必要と考える。 また、交通安全担当課として、ゾーン30をはじめとした交通安全対策等について、関係課と連携協力し、整備を進めていきたい。
弥　富　市	未就学児を中心に子どもが日常的に集団で移動する経路等の緊急安全点検を危険個所の報告があった施設から、優先的に児童課、土木課、警察、保育所、認定こども園の関係者により実施する予定。７月２日開催の交通安全推進協議会にて地域ぐるみで子どもを見守るために協力を要請し、承認をえた。交通事故から子供たちを守るため、市内の小学校の校区ごとに危険個所をまとめた「交通事故発生マップ」の作成を警察と協力して開始した。運転免許証を自主返納した７５歳以上の高齢者への支援として高齢者等福祉タクシー料金助成を開始した。毎年、小学校の通学路の合同点検を実施し、点検結果を踏まえた道路交通安全環境の整備を行っており、本年度以降も同様の取組を継続して行う。
みよし市	〈未就学児等〉 ・市内保育園10園を対象として交通安全教室の開催（4月実施済） ・市内幼稚園6園を対象として交通安全教室の開催（9．10月実施予定） ・保育園周辺の交通安全点検の実施(8月20日実施予定) ・小学校通学路点検の実施（8月21，23，29，30日実施予定） ・通学路での歩行者保護啓発活動の実施（秋の安全なまちづくり県民運動期間中実施予定） 〈高齢者〉 ・高齢者交通安全実践教室の開催（6月実施） ・自動車後付安全装置補助事業の検討（9月補正予算計上） ・シルバー交通安全教室の開催（2月実施予定） ・いきいきクラブを対象にみよし市交通安全通信と啓発品の配布 ・保険会社と連携しての一般高齢者を対象とした交通安全教室の開催
あ　ま　市	未就学児については、女性運転者友の会による紙芝居交通安全啓発を実施。高齢者については、長寿を祝う会等において交通安全の啓発事業を行っている。
長久手市	未就学児等及び高齢運転者の交通安全緊急対策の具体的な取り組みについては、現在、検討中です。